

第6次太宰府市障がい者プラン策定支援業務 みんなでつながる！ 障がい児支援ワークショップ 実施報告書

内容

1. ワークの目的	1
2. ワークショップの概要	1
3. 当日の意見	3
4. まとめシートの内容	17
5. 当日の様子	19
6. 参加者アンケート結果	20

福岡県 太宰府市
令和8年3月

1. ワークの目的

太宰府市の障がい児の支援体制における課題として、行政・福祉・療育・教育・保育などの関係機関間のつながりのなさが挙げられたことから、今後のさらなるきめ細かな支援体制を構築していくうえでの第一歩として、相互理解と顔の見える関係づくり、そして関係機関がつながることの重要性を実感することを目的とし、ワークショップを実施した。

2. ワークショップの概要

① 実施概要

実施日程	令和8年3月19日（木）18：00～20：00
参加人数	教育・保育関係者：14名 福祉・療育関係者：17名 計21名 ※いずれも各分野の行政職員を含む

② ワークテーマ

障がい児支援 “モヤモヤ” 改善トーク

日頃、障がい児支援に携わっているなかでそれぞれが感じている“モヤモヤ”をグループで共有し、改善に向けた意見交換をするワークとした。

③ ワーク概要

1. オープニング

・主催者挨拶および趣旨説明。ワークショップのルールと目的共有。

2. 自己紹介

・「自己紹介カード」を最初に記入後、テーブル内1人1分で自己紹介タイム。

3. グループワーク

ワーク①日頃感じる障がい児支援の“モヤモヤ”の洗い出し（グループ内部門別ワーク）

→まずは個人で、「最近モヤモヤしたこと」をふせんに書いていく

→教育：青のふせん 福祉：ピンクのふせん

→モヤモヤしたこと：「こんなことで困った」「どうすればいいのかわからない」「もっとこんなことをしたいのに」といった日頃感じる気になること

※ふせんの内容は「支援する側の視点」に固定して考えてもらう

ワーク②ふせんの共有・マッピング

- グループ内でふせんを共有し、模造紙に配置していく
- 縦軸を「グループ内の共感度」、横軸を「解決難易度」としてマッピング
- 縦軸のグループ内の共感度では、ふせんを見ながら「その機関だけが抱えている課題」「多くの機関が抱えている課題」の区別をつける
- 横軸は解決に向けたアクションが「今できる」か「調整が必要」かといった難易度で区別する

ワーク③モヤモヤの改善・解決に向けたアイデア出し

- マッピングした「モヤモヤ」の改善・解決に向けてどうしたらよいか考え、黄色のふせんに記入
- 「思っていたよりすぐ解決できそう」「意外と難しそう」といった難易度の変化が出るので、逐一貼りなおしていく
- 共感度の低いふせんについては、「他の機関ではどう対処しているのか（事例の共有）」といった経験に基づく改善策を出し合う
- 共感度の高いふせんについては、改善に向けて新たなアイデアを出し合う

4. まとめ

- まとめシートの記入「障がい児支援に携わる私たちに“いま”必要なこと」「明日のわたしができること」の2点を記入する
- グループ内で発表→閉会

5. クロージング

- ・ 帰り際にギャラリーウォーク（「わかる！」「これいい！」と思ったふせんにシールを貼る）
見終わった参加者から解散

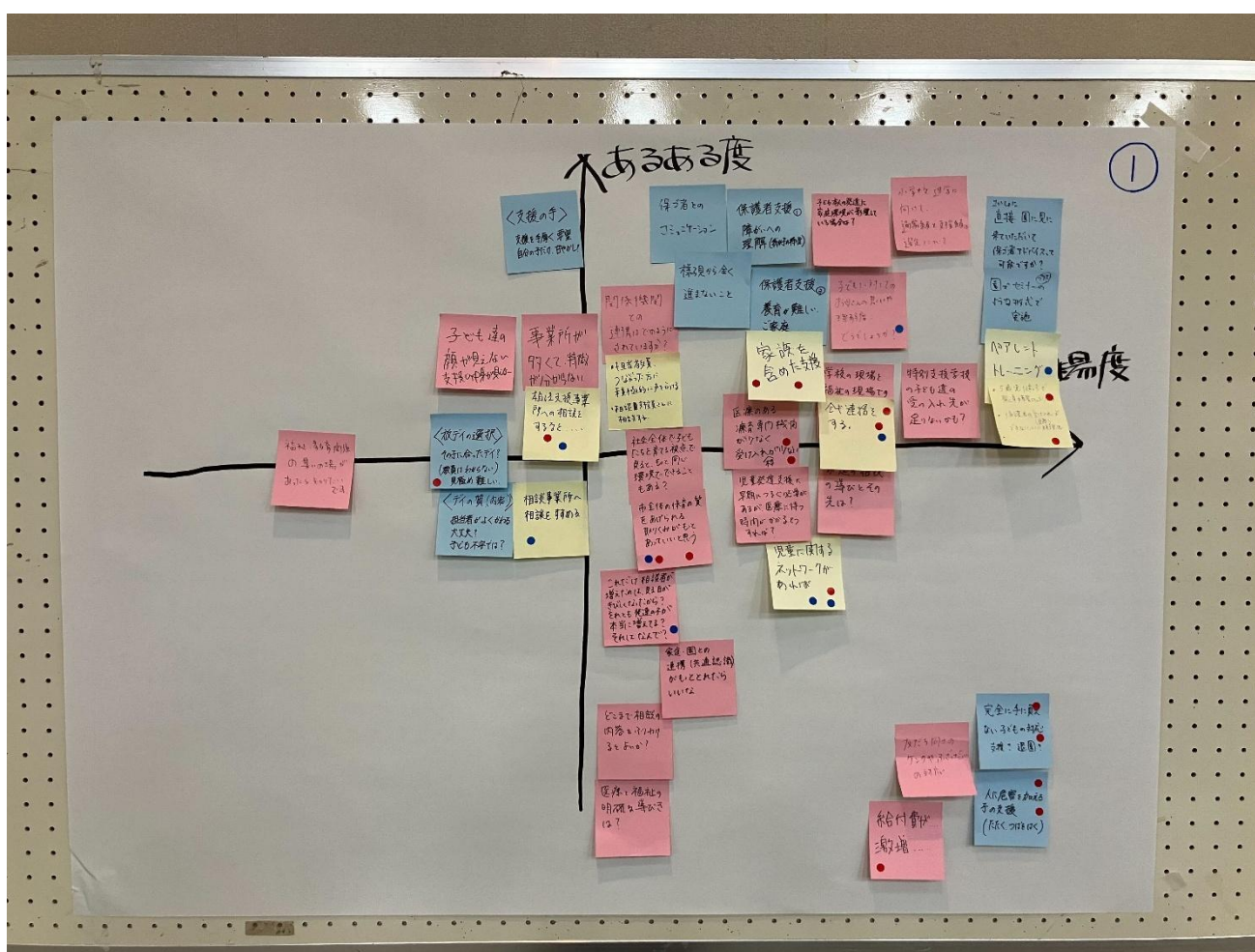
3. 当日の意見

ワークでは、ふせんの色ごとに以下の内容を記入した。

モヤモヤ（福祉・療育） のふせん	モヤモヤ（教育・保育） のふせん	モヤモヤに対する アイデア・解決策のふせん
---------------------	---------------------	--------------------------

また、ワーク終了後に福祉・療育の分野は●、教育・保育の分野は●の色のシールを持って共感したふせんやまとめシートに貼って回るギャラリーウォークを行った。

① グループ 1



あるある度高・難易度低

■ アイデアが出たふせん

事業所が多くて特徴が分からない	相談支援事業所への相談をするなど…●●
-----------------	---------------------

■その他のふせん

子ども達の顔が見えない支援の中身が見えない	<放デイの選択> その子に合ったデイ？（教員はわからない）見極め難しい●
福祉・教育関係の集いの場があったら知りたいです	<支援の手> 支援を手厚く要望 自分の子だけ甘やかす

あるある度高・難易度高

■アイデアが出たふせん

関係機関との連携はどのようにされていますか？	・担当教員、つながった方に積極的に声をかける ・相談支援員さんに相談する
最初に直接園に身に来ていただいて、保護者アドバイスって可能ですか？	ペアレントトレーニング●
園でセミナーのような形式で実施	・5才児健診で発達障害のふりわけ● ・保護者の受け入れ（受容）ができない。特に未就学児●
保護者支援① 障がいへの理解（我が子の特性）	家族を含めた支援●●
保護者支援② 養育が難しいご家庭	
学校の現場と福祉の現場での一貫した支援のまとめ方は？	会議連携をする●●●

■その他のふせん

医療のある療育専門機関が少なく受け入れ枠が少ない●●	保護者とのコミュニケーション
特別支援学級の子どもの受け入れ先が足りないかも？	様子見から全く進まないこと
子ども本人の発達に家庭環境が影響している場合は？	
子どもに対してのお母さんの思いやり理解度どうでしょうか？●	小学校進学に向けて、通常級と支援級の選定について

あるある度低・難易度低

■アイデアが出たふせん

<デイの質（内容）> 担当者がよくわかる大丈夫？子ども不安では？	相談事業所へ相談をすすめる●
--	----------------

■その他のふせん

なし

あるある度低・難易度高

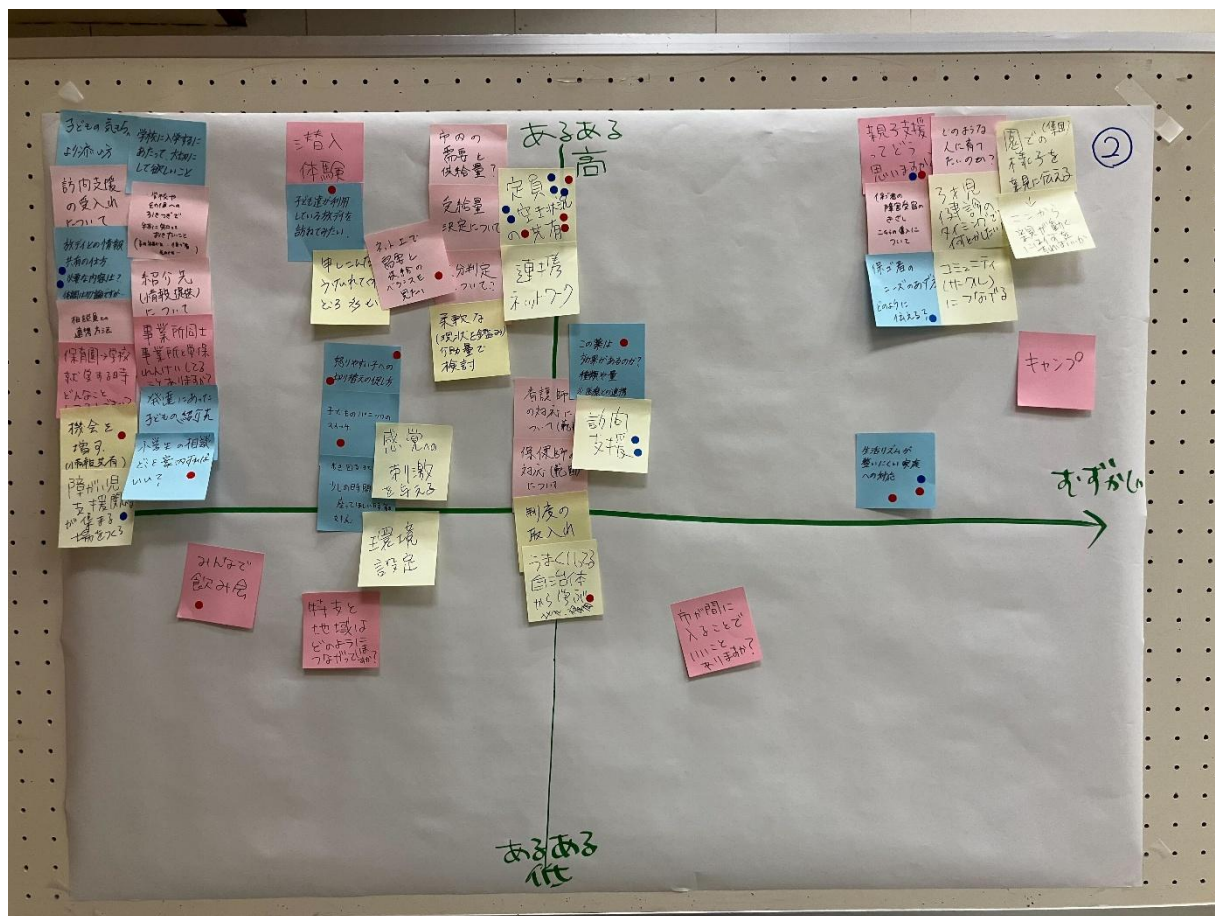
■アイデアが出たふせん

家庭の相談の導きとその先は？	児童に関するネットワークがあれば●●●
児童発達支援に早期につなぐ必要があるが、医療に待つ時間がかかる。どうすれば？	

■その他のふせん

社会全体で子どもたちを育てる視点で見ると、もっと同じ環境でできることもある？	完全に手に負えない子どもの対応支援？退園？ ●●
市全体の保育の質をあげられる取りくみがもっとあっていいと思う●●●	人に危害を加える子の支援（たたく、つばをはく）●●
これだけ相談者が増えたのは、見る目がきびしくなったから？それとも発達の子が本当に増えている？それはなんで？●	医療と福祉の明確な導きは？
家庭、園との連携（共通認識）がもっととれたらいいな	友だち同士のケンカやふざけ合いの対応
どこまで相談の内容をふり分けるとよいか？	給付費が…激増…●

② グループ2



あるある度高・難易度低

■アイデアが出たふせん

市内の需要と供給量？	定員、空き状況の共有 ●●●●●●●●●●
受給量決定について	連携ネットワーク
区分判定について	柔軟な（現状を鑑み）介助量で検討
子ども達が利用している放デイを訪ねてみたい	申し込んだら受け入れてくれるところ多い
子どものパニックのスイッチ ●	感覚への刺激を与える
歩き回る子ども少しの時間座ってほしい時等の対応	環境設定
保育園→学校	機会を増やす（情報共有） ●
就学する時どんなことしてるんですか？	障がい児支援関係者が集まる場をつくる ●

■その他のふせん

潜入体験	怒りやすい子への切り替えの促し方 ●●
学校や幼保への引きつぎで特に知っておきたいこと（子どもの特性・保ゴ者その他…）	発達にあった子どもの紹介先
紹介先（情報提供）について	小学生の相談どこを案内すればいい？ ●
事業所同士事業所と学・保連携してることありますか？	子どもの気持ちへの寄り添い方
ネット上で需要と供給のバランスを見たい ●	放デイとの情報共有の仕方必要な内容は？体調は勿論ですが… ●●
訪問支援の受け入れについて	
相談員との連携方法	

あるある度高・難易度高

■アイデアが出たふせん

親子支援ってどう思いますか？ ●●	園での様子を親に伝える→ここから親が動くには何をすればいいのか
保ゴ者の障害需要のきざしこちらの導入について	3才児健診のタイミングで何とかしたい
保ゴ者のニーズのあげ方どのように伝える？ ●	コミュニティ（サークル）につなげる
看護師の対応について（範囲）	訪問支援 ●●
保健師の対応（範囲）について	制度の取入れ
	うまくいっている自治体から学ぶ ●北九、福岡

■その他のふせん

キャンプ	生活リズムが整いにくい家庭への対応 ●●●
どのような人に育てたいのか？	この薬は効果があるのか？種類や量 ※医療との連携 ●

あるある度低・難易度低

■アイデアが出たふせん

なし

■その他のふせん

特支と地域はどのようにつながっていますか？	みんなで飲み会 ●
-----------------------	-----------

あるある度低・難易度高

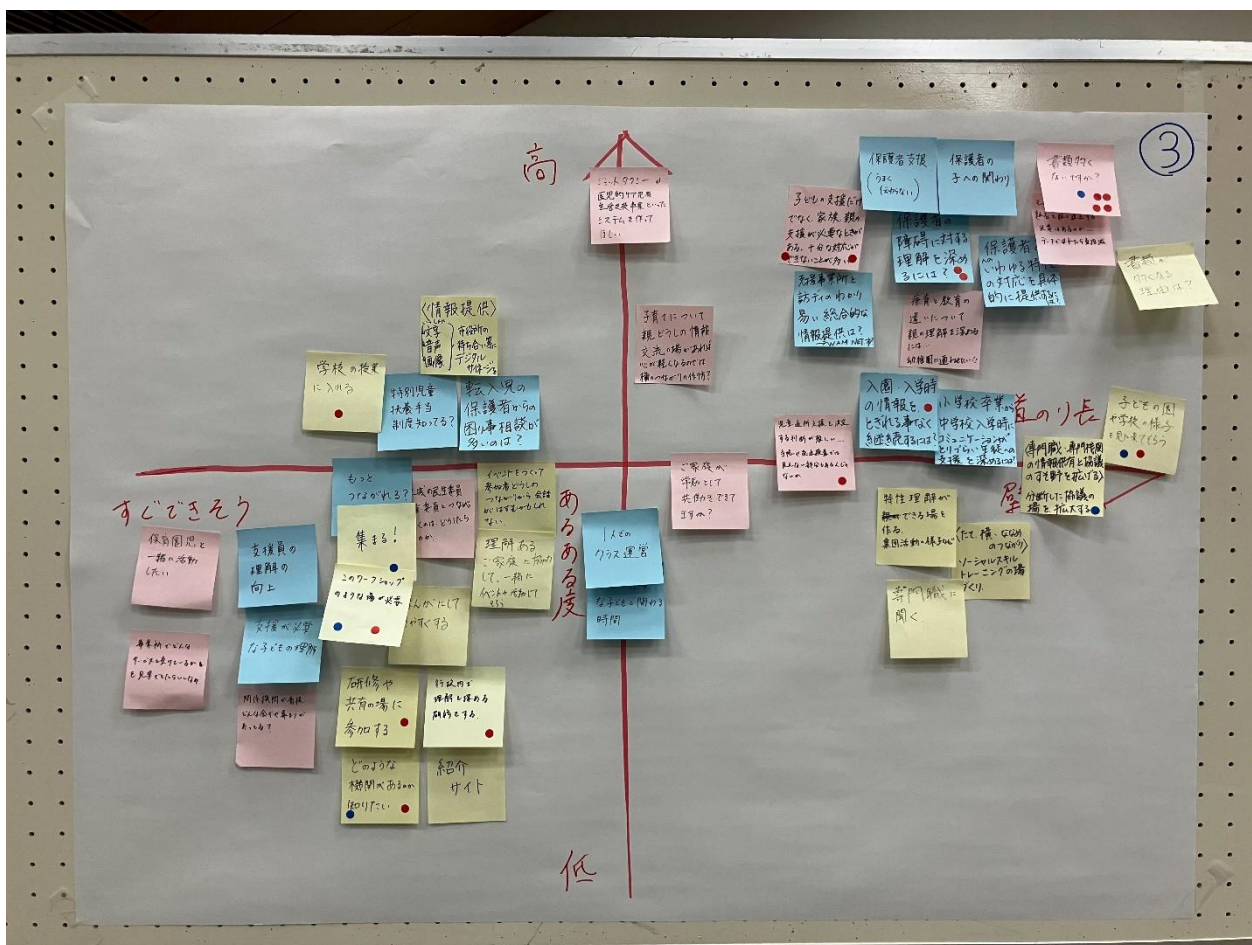
■アイデアが出たふせん

なし

■その他のふせん

市が間に入ることでもいいことありますか？

③ グループ3



あるある度高・難易度低

■アイデアが出たふせん

転入児の保護者からの困り事相談が多いのは？	一緒に 文字 音声 画像	{ ＜情報提供＞ 市役所の 待ち合い等に デジタルサイネージを
特別児童扶養手当制度を知っている？		
		学校の授業に入れる●

■その他のふせん

なし

あるある度高・難易度高

■アイデアが出たふせん

書類多くないですか？ ●●●●●	書類が多くなる理由は？
モニタリング報告や契約内容報告を紙で提出する必要はあるのか… データで遅れたら負担減	
小学校卒業から中学校入学時にコミュニケーションがとりづらい生徒への支援を深めるには？	子どもの園や学校の様子を見に来てもらう ●●
入園、入学時の情報をとぎれる事なく継続するには？	<専門職・専門機関の情報共有と協議のすそ野を拡げる> 分断した協議の場を拡大する
児童通所支援を決定する判断が難しい… 手帳や発達検査では見えない部分もあるんじゃないか ●	<たて、横、ななめのつながり> ソーシャルスキルトレーニングの場づくり
子育てについて親どうしの情報交流の場があれば、心が軽くなるのでは横のつながりの作り方？	特性理解ができる場を作る集団活動の様子など
ジェットタクシーや医療的ケア児(者)、生活支援事業といったシステムを作ってほしい	専門職に聞く

■その他のふせん

療育と教育の違いについて親の理解を深めるには…幼稚園に通わせたい!!	保護者の子への、いわゆる特性の対応を具体的に提供するには？
子どもの支援だけでなく家族、親の支援が必要なきがある。十分な対応ができないことが多い ●●	保護者の子への関わり
支援事業所と放デイのわかり易い総合的な情報提供は？→WAM NET、市？	保護者支援（うまく伝わらない）
保護者の障がいに対する理解を深めるには？ ●●	

あるある度低・難易度低

■アイデアが出たふせん

地域の民生委員児童委員とつながっていくにはどうしたらいいのか	もっとつながれる？	イベントをつくって参加者同士のつながりから会話がはずむかもしれない
		理解あるご家族に協力して一緒にイベントや活動してもらう
		まんがにしてみやすくする
		行政内で理解を深める研修をする●
		紹介サイト
		集まる！
		このワークショップのような場が必要●●
		研修や共有の場に参加する●
		どのような機関があるのか知りたい●●

■その他のふせん

関係機関が普段どんな会議や集まりがあっている？	支援員の理解の向上
保育園児と一緒に活動したい	支援が必要な子どもの理解
事業所でどんなサービスを受けているかを見学できたらいいなあ	

あるある度低・難易度高

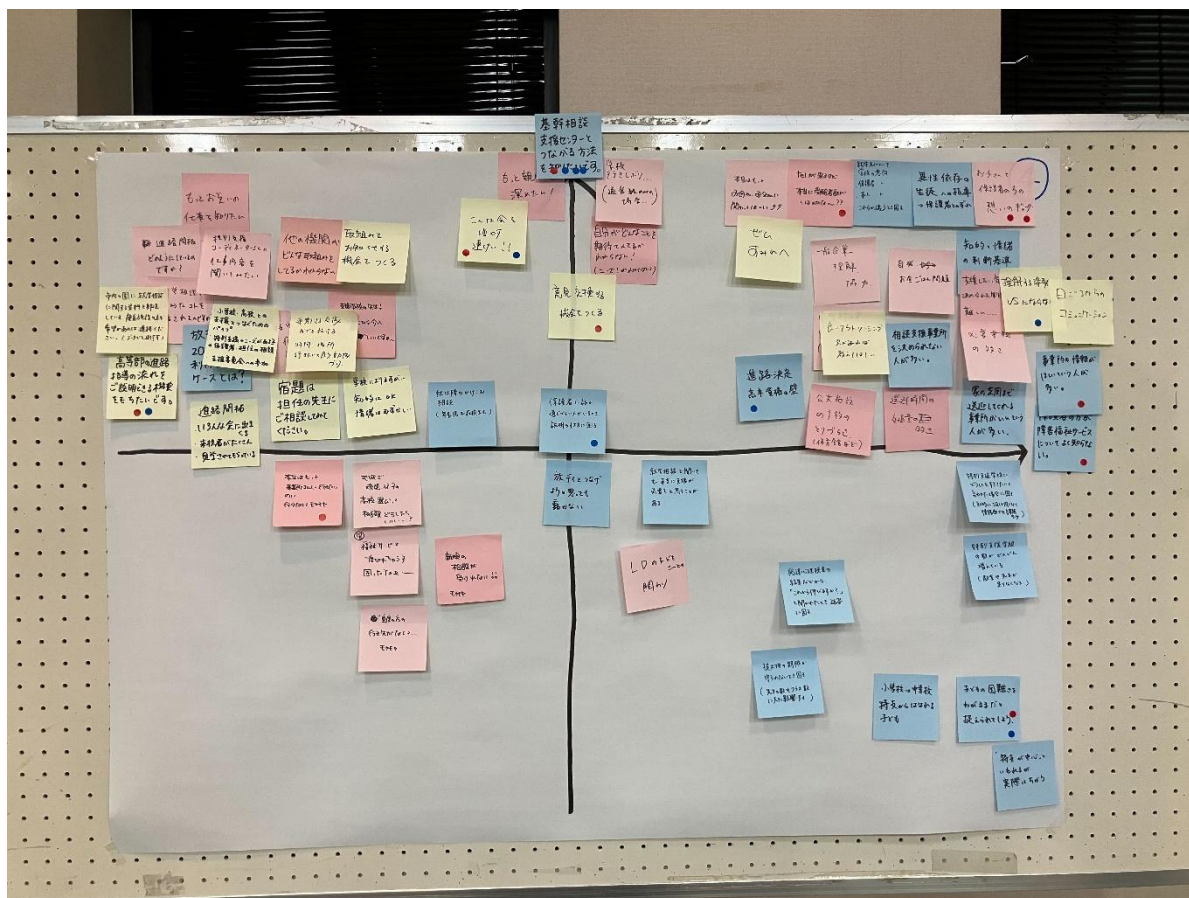
■アイデアが出たふせん

なし

■その他のふせん

ご家族が常勤として共働きできてますか？	1人でのクラス運営
支援が必要な子どもと関わる時間	

④ グループ4



あるある度高・難易度低

■アイデアが出たふせん

もっと親ぼくを深めたい！	こんな会を増やす 連けい!! ●●
支援学校の先生！ 私はどこから介入するのがいいですか～	学校によりますが知的は OK 情緒はむずかしい
他の機関がどんな取組みをしているかわからない！	取組みをお知らせする機会をつくる 連携できる会議などを設ける時間・場所行きたいと思う動機づけ
特学の宿題って…対応できるものですか？	宿題は担当の先生にご相談してみてください
特別支援コーディネーターさんの仕事内容を聞いてみたい	・ 小学校、高校との支援をつなぐためのパイプ ・ 特別支援のニーズをある子の保護者、担任の相談 ・ 支援委員会への参加

放デイ 20 歳まで利用できるケースとは？	進路開拓 ・ いろんな会に出まくる ・ 来校者がたくさん ・ 見学させてもらっている
就学相談どのようなコトをお話されるのですか？	市内の園に就学相談に関する資料を郵送している療育施設の方も希望があれば連絡ください（データ送付可） 高等部の進路指導の流れをご説明できる機会をもちたいです ●●

■その他のふせん

もっとお互いの仕事を知りたい	秋以降のかけこみ相談（年長児も在校生も）
進路開拓どのようにしているのですか？	

あるある度高・難易度高

■アイデアが出たふせん

お子さんと保護者の方の想いのギャップ ●●	理解する姿勢 VS にならない！ 日ごろからのコミュニケーション
市町村の違い学校の時間割（下校時間等の違い）	良いアウトソーシング先があれば教えてほしい
本当はもっとお母さん、お父さんに関わってほしい	ぜひすみれへ 意見交換する機会をつくる ●

■その他のふせん

支援したい気持ちと決められた制度が難しい…	事業所の情報がほしいという人が多い ●
必要書類の多さ	保護者の方が障がい福祉サービスについてよく知らない ●
児発お昼ごはん問題	知的と情緒の判断基準
送迎時間の交通量の多さ	家の玄関まで送迎してくれる事業所がいいという人が多い
tel が来るけど本当に受給者証がいるのかな～？ ●	異性依存の生徒への指導→保護者とのずれ
一般企業の理解、協力	相談支援事業所を決められない人が多い
公共施設の予約のとりづらさ（体育館など）	就学先について ・ 学校の意向・保護者の意向・本人の意向 これらが違うとき困る
学校行きしぶり…（通常級のみの場合）	進路決定高卒資格の壁 ●
自分がどんなことを期待されているかわからない（ニーズ？がわからない？）	基幹相談支援センターとつながる方法を知りたいです ●●●●
	保護者に話が通じづらい人がいるとき説明の仕方に困る ●

あるある度低・難易度低

■アイデアが出たふせん

なし

■その他のふせん

新規の相談が受けれない!! モヤモヤ	重度の方の行き先がなくて…モヤモヤ
地域で頑張る子の高校選びって相談員どうしたらいい…?	本当はもっと事業所さんに行きたいのに行けなくてモヤモヤ●
福祉サービス一度切れちゃう子 困ったなあー	

あるある度低・難易度高

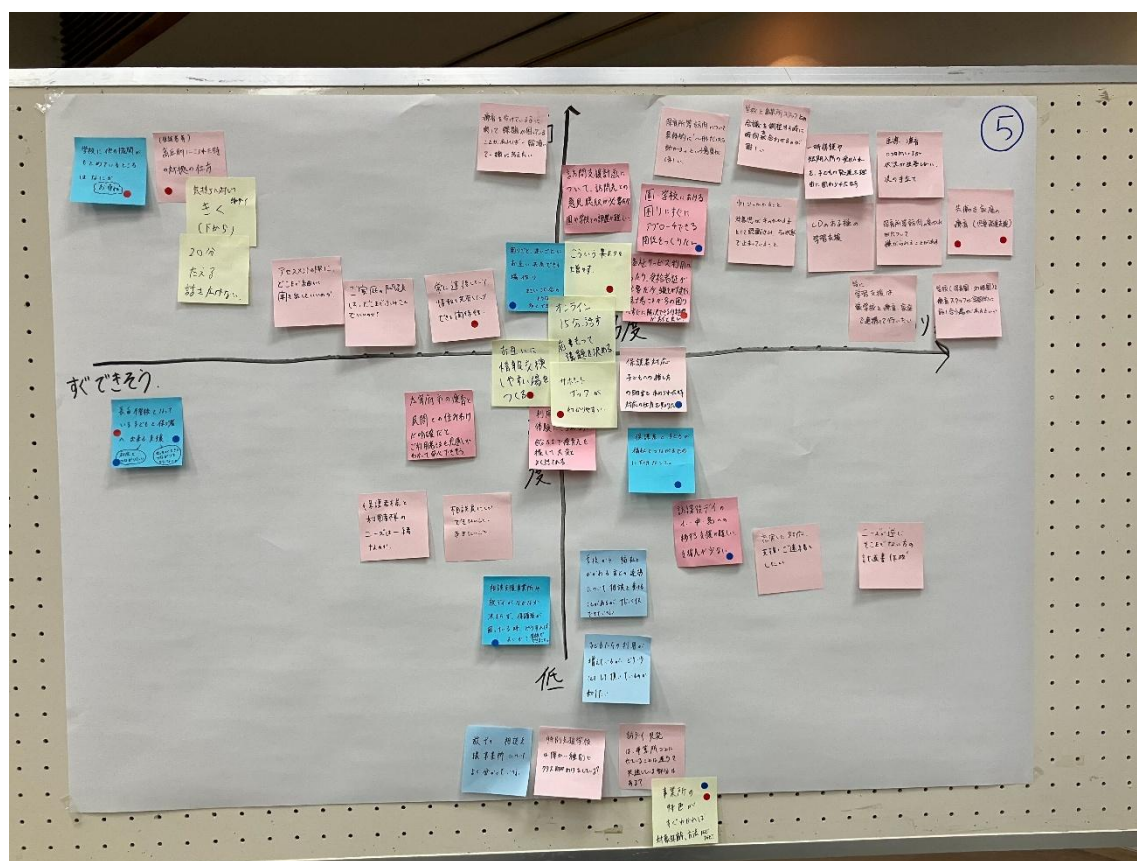
■アイデアが出たふせん

なし

■その他のふせん

LD の子どもさんとの関わり	特別支援学校にどうしても行きたいと言われた場合に困る（知的に IQ は低くなく情緒面での課題のみ）
発達心理検査の結果などから「これから伸びますか？」と聞かれたとき返答に困る	特別支援学級の数がどんどん増えている（教室や先生が足りなくなる）
提出物の期限が守られないとき困る（先生の数やクラス数に大きく影響する）	子どもの困難さをわがままだと捉えられてしまう●●
就学相談を聞いても本当に支援が必要？と思うことがある	「特支が中心」といわれるが実際はちがう
放デイとつなげようと思っても動かない	小学校→中学校特支からはなれる子ども

⑤ グループ5



あるある度高・難易度低

■アイデアが出たふせん

困りごと、迷いごとにお互い共有できる場作り まさにこの会のようなものが多くできれば…●	こういう集まりを増やす●
	オンライン 15分話す前もって議題を決める
	サポートブックがわかりやすい●
常に連絡したり情報を共有したりできる関係性●	お互いに情報交換しやすい場をつくる●
(保護者等) 高圧的にこられた時の対処の仕方●	気持ちに対して謝罪きく (下から)
	20分たえる話を広げない

■その他のふせん

療育を受けている子に関して課題や困っていることがあれば一報頂いて一緒に考えたい	学校に他の機関がもとめていることはなにか お尋ね●
ご家庭の問題はどこまでふみこんでいいのか？	アセスメントの際にどこまで細かく聞き出して いいのか

あるある度高・難易度高

■アイデアが出たふせん

なし

■その他のふせん

共働き家庭の療育（児童発達支援） ●●	一時保護や短期入所の受け入れを子どもの発達を理由に断られた時
学校（保育園・幼稚園）と療育スタッフが定期的に話し合う場があるといい	LD のお子様の学習支援
医療・療育につながっているが状況が改善しない 次の手立て	学校と事業所スタッフとの会議を調整する時に時間を合わせるのが難しい
保育所等の訪問の受け入れについて嫌がられることがある	少しひっかかること対象児が手のかかる子として認識され、その状態で止まっていること
特に学習支援は学校と療育・家庭で連携して行いたい	保育所等訪問について具体的に「～形だったら助かる」という意見がほしい
福祉サービス利用にあたり受給者証が必要だが、手続きが大変そう保ご者さまが今の困りにすぐに解決できる仕組みがあると良い ●	園、学校における困りにすぐにアプローチできる関係をつくりたい ●
訪問支援計画について訪問先との意見聴取が必要だが園や学校との調整が難しい	

あるある度低・難易度低

■アイデアが出たふせん

なし

■その他のふせん

利用前に保護者さまが体験にこられるが、自分たちで療育先を探して大変とよく話される	相談支援事業所や放デイがなかなか決まらず、保護者が困っている時、どうすればよいか？ 学校でできること ●
太宰府市の療育と民間との住みわけが明確だとか利用者さまも見通しがわかって安心できそう	放デイ、相談支援事業所についてよく分かっていない
相談員にしかできないことききたいこと	長く不登校となっている 子どもと保護者へ出来る支援 ●●●
保護者様と利用者様のニーズは一緒なのか	

あるある度低・難易度高

■アイデアが出たふせん

放デイ・児発は事業所ごとにやっていることは違う？共通している部分はある？	事業所の特色がすぐわかれば対象年齢、方法などなど●●
--------------------------------------	----------------------------

■その他のふせん

ニーズが逆にそこなでない方の計画書作成	保護者と子どもが福祉とつながるために大切なこと●
充実した対応支援・ご連絡をしたい	学校から福祉にかかわる方との連携について相談を受けることがあるが、アドバイスできていない
保護者対応 子どもへの接し方の助言を求められた時、対応の仕方を知りたい●	子どもたちの利用が増えているがどういうことをして頂いているのか知りたい
放課後デイの小・中・高への移行支援が難しい支援先が少ない●	
特別支援学校は障がいの種別でクラスわけをしている？	

4. まとめシートの内容

ワークの総括として、参加者にワークショップを通じて感じた「障がい児支援に携わる私たちに“いま”必要なこと」と「明日のわたしができること」をまとめシートに記入し、グループごとに発表した。

■福祉・療育分野

障がい児支援に携わる 私たちに“いま”必要なこと	明日のわたしができること
お子さま、保ご者さまを中心に教育・福祉・ご本人たちがトライアングルでかかわる	おはなしをする時間をつくる
福祉・教育のIT化（AI・オンライン）連携を増やすために	情報共有の場を積極的に作る
他機関との連携、顔の見える関係づくり	思い切って自分から連絡・相談する
・利用者様に関わる方たちの共通理解 ・かべをなくす	・利用者様のことで聞きたいことがある時は積極的にきいていく
みんなとつながる！協力、助け合い	今日であった方とちょっとしたことから連携していく！
連携の機会	意識改革！みんなでつながる！
連携・チーム!! 意識 情報共有／交換	迷ったら、連絡する!!
様々な関係機関との認識のちがい（視点のずれ、しきいの高さなど）を解消・修正できる場	どこで、どうやってコミュニケーションをとっていくのかの具体的プラン
顔の見える関係性づくり	飲み会の日程調整
連携（輪を広げること）保ご者、相談、幼保、学校等々…	・子どもの“なぜ”に向きあうこと ・ネットワークを作る土台づくり
育てる事（自分事、将来を見て）	（係）（関）わる
顔の見える関係	前向きに
子ども達の未来がよくなるように考えつづけること	・顔の見える関係づくり ・発達特性に合った支援の共有
関係機関との連携、情報共有	保護者に寄りそい関係づくり
障がいの状況に添い、関係機関との連携を行うことで家族、本人の生活の質を上げる	ワークショップを通して地域の困り感を理解した内容を糧に支援の強化を図る
顔の見える関係づくり 実際に現場に足を運ぶ（事務所訪問）	周りにワークショップの内容を伝える
ご家族をまきこんだ他機関との連携	困った人が出た時に誰かに繋がるネットワークを作る

つながっていくことの大切さを具体的にできるところから進めていく	・アセスメントシートは申請できるいろいろな支援について伝える内容も加えて面談を行う (NHK/ニモカ/年金/手当てなど)
---------------------------------	---

■教育・保育分野

障がい児支援に携わる 私たちに“いま”必要なこと	明日のわたしができること
学校・保護者・相談支援事業所がつながること	(そのために学校に働きかける、情報を提供する)
子どもを中心として“共有すること”の大切さを知る	もっと話がしたい、共有したい <u>思いはお互い同じなので</u> 、ZOOM や共有の場を増やす努力をする ●●
意見交換・情報共有	気になったことはすぐ問い合わせる 「こんなこと聞いていいのかな…」と思わずに
子どもの可能性を伸ばすための情報収集	特支担任へ共通理解
みんなで意見交換する	上司に今日の会の報告
連携	子どもの様子を見ていきながら関わる
子どもや保護者の気持ちにより添いうながす 各部署との連携	子どもの視点にたって保護者に伝える日々学ぶ、関わりを大切にする
関係者の連携	クリアしたい事に関する情報集め
連携	会議(話し合いましょうね♡)と保護者に伝える
引き続き保護者との信頼関係を高めながらあの手この手を使ってコミュニケーションをとること	あの手この手の機関のもさく 今日のような様々な相談
仲間を知ること、制度を知ること	知ること！考えること！
顔の見える関係をつくりネットワークを拡げる	聴く 声をかける 参加する
支援への理解を深める 子ども・保護者へ段階をおった将来的なサポート	共有すること

5. 当日の様子



6. 参加者アンケート結果

ワークショップ終了後、参加者アンケートを実施した。(回答数8件)

1. あなたの所属

障がい児福祉サービス事業所	1
相談支援事業所	1
特別支援学校	2
小・中学校	2
保育所・幼稚園	0
行政	2

2. 本日のワークショップはいかがでしたか？

とてもよかった	8
よかった	0
少し不満	0
不満	0

3. 「2.」の回答の理由をご記入ください。

普段意見を聞いたり話してみたりしたい方々と交流でき、今後の生徒の支援に生かせると思いました。
いろんな人達の話が聞けて、学びもあり、少しつながれたという感じもあり、とても良い機会になったので。
様々な業種の方の意見や悩み、困り感をお聞きでき、それぞれの環境で協力しあってできることが見出せた。お互いに心強い存在になれたと実感ができた。
普段の疑問を聞くことができ、学びの多い場になりました。
いろんな立場の方と顔見知りになれ、悩みや課題を共有できたから。
ワークの手順が分かりやすかったうえ、始まってすぐのアナウンスで、出た意見に対して肯定的に和気あいあいと協議することができたから。
民間の事業所からの参加もあり、それぞれの立場からの話を聞くことで、役割理解が進んだうえ、スクールソーシャルワーカーとしての課題も見えてきたから。
様々な職種の方々と「もやもや」を共有したり、解決策を考えたりすることができたため。
色んな情報交換ができたから

4. また、このような市内の障がい児支援に携わる関係機関の共有の場があれば、参加したいと思いますか？

参加したい	8
参加したくない	0

5.「4.」の回答の理由をご記入ください。

顔見知りになることで情報共有がしやすくなるから。
何かできるんじゃないか！という気持ちになれた！つながることで可能性が広がると思えた。
顔の見える関係が作れるうえ、それぞれの専門分野の「知恵袋」になるのが、こうした場での情報だと思うから。
顔の見える関係作り、同じ目標に向かってチーム連携できる仲間づくりができれば嬉しいです。
定期的な情報の共有（更新）が必要だと感じるため。
他の班にいらした関係機関の方ともお話したいから。
障害者の場合は、子どもさん、本人だけではなく、家族保護者の課題もあるため、様々な意見を参考にしながらその都度支援を強化していきたいと思っている。
他職種連携するきっかけがほしいので。

●最後に今日のワークショップや太宰府市の障がい児支援体制について、ご意見があれば自由に記入してください。本日はご参加ありがとうございました！

今後も今日のような素晴らしいワークショップを開催し、密な「チーム太宰府♥」の牽引をお願いいたします。参加して良かったと思える達成感のあるワークショップでした。ありがとうございました。拝
このような機会を作っていただきありがとうございます。お忙しい方々も多いとは思いますが、日中の開催を御検討いただきたいです。
他職種が集まる機会を設けてくださりありがとうございました。今後も定期的に開催されることで、よりよい協力体制の構築につながるのではないかと感じました。
2時間があっという間でした。ふせんの色分けで内容が見やすく全体像がつかみやすかったです。進行もわかりやすかったです。
今日のワークショップの内容がとてもわかりやすかった。見える化が効果的だったと思います。これからの支援体制をさらに強化していくためにも、その後の状況や現状を報告し合う場も必要だと思います。強い体制が今後期待できます。太宰府市がチームとして強くなりますように願っています。参加して良かったです。ありがとうございました。
いつも大変お世話になっております。今後とも連携を密にして子どもの支援にあたって参ります。

第6次太宰府市障がい者プラン策定支援業務
みんなでつながる！
障がい児支援ワークショップ
実施報告書
発行：太宰府市役所 福祉課
TEL：092-921-2121（内線 365）
発行年月：令和8年3月